

## 社会と分かち合える価値を創造し、持続的な成長を実現します。

技術も社会もすさまじい勢いで変化を続け、予期 せぬ事態や画期的な技術の進展が世界中で起こっ ています。この状況の中でも、三菱ガス化学グループ は独自技術を基盤に、社会の発展と調和に貢献する ことを使命としています。気候変動や資源・エネル ギー問題、少子高齢化、医療・食品の安全性、IT技 術の進展、顧客ニーズの多様化・変化の高速化など、 私たちが直面する課題は多岐に渡ります。これらの 課題に対し、私たちはこれまで常に新しい技術と価 値の創造に挑み続け、社会とともに成長してきました。

今後も三菱ガス化学グループは環境循環型メタ ノール(Carbopath<sup>TM</sup>)、過酸化水素、高機能エン ジニアリングプラスチックス、MXDAやMXナイロン などの化学品・素材製品をはじめ、未来社会の発展・ 構築に必要なエレクトロニクスケミカルズや光学材料、 半導体パッケージ材料等を創出・提供し、また医食の 課題に対応して医療包材(Oxycapt™)、脱酸素剤 (エージレス®)など多岐にわたる事業を展開して社会 課題解決に貢献してまいります。また、地熱発電や CCUS(CO2の回収・貯留・有効利用)等のエネル ギー資源事業、抗体医薬をはじめバイオ技術関連と いったライフサイエンスソリューション製品を通じて、 カーボンニュートラルをはじめ、未来社会構築に必 要な価値を提供してまいります。

AI、DX等の新技術の高度な展開は社会にさら に激しい変化の波を及ぼしますが、この変化の中に おいても持続的な成長を実現するためには、従来 の枠にとらわれず、新たな事業を創出・育成し、進化



していくことが重要です。これにより私たちはオーガニックな成長とともに、新規事業領域を通じて今後も生じる社会課題を解決し、新たな価値を提供していくことを目指します。もちろん、社内およびグループ内にいる仲間たちが、個性を十分に発揮して元気に活躍できていることが大前提です。一人ひとりがその能力を向上・発揮することで、会社もまた大きく成長すると考えています。

三菱ガス化学グループは、ミッション「社会と分かち合える価値の創造」をもとに、経済的価値と両立する社会的価値を創造し、持続的な成長を実現してまいります。今後とも皆さまからのご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 伊佐早 禎則





### **MGC Commons**

三菱ガス化学株式会社(MGC)が運営するイノベーションセンターです。 この施設では、多様な人々の出会い・学び・成長を通じ、社会と分かち合える価値の創造を目指します。





天然ガスを出発原料に、メタノール・アンモニアのケミカルチェーンを、基礎化学原料から機能材料に至る幅広い分野にわたって展開しています。現在ではCO2や廃棄物から生成されるグリーンメタノールを介してエネルギーや素材を生み出すことを目指す環境循環型プラットフォーム"Carbopath™"の取組を推進しています。





メタノールは化学産業を支える基礎化学 原料です。近年では非石油系燃料として も注目を集めています。



プラスチックや塗料などに使われる MMAは、三菱ガス化学が開発した新 ACH法(硫安を副生しないグリーンプロ セス)で生産されます。(写真:三菱ガス化 学新潟工場のMMAプラント)



直接メタノール形燃料電池(DMFC)はメタノールと空気を原料として電気をつくります。化学反応で発電するため、音が静かで、大気汚染物質を発生しません。通信機器等の長時間(72時間以上)バックアップ電源としてご利用いただいています。



アンモニアは脱硝用の還元剤として使用され、窒素酸化物を除去し、大気汚染防止に貢献しています。(写真:アンモニア輸送船)

- ●メタノール ●ジメチルエーテル (DME) ●アンモニア ●アミン類
- メタクリル酸メチル (MMA)、メタクリル酸 (MAA)、メタクリル酸特殊エステル類





超強酸HF-BF3(フッ化水素-三フッ化ホウ素)の利用技術を 要に、メタキシレンチェーン、芳香族アルデヒド類など、三菱 ガス化学グループだけがつくれるオリジナリティの高い製品 を中心に展開しています。それらの製品は、繊維や合成樹脂、 塗料などの原料や添加剤など暮らしや産業に欠かせないも のばかりです。

### 主要製品

- •メタキシレン
- MXナイロン(MXD6)
- 高純度イソフタル酸(PIA)
- •ホルマリン

- •メタキシレンジアミン (MXDA)
- 芳香族アルデヒド
- ●成型品
- ポリオール類

### 高機能製品

- •ネオプリム®(高耐熱性無色透明ポリイミドワニス)
- ●マクシーブ®(ガスバリア性2液型エポキシ樹脂)
- ●サープリム®(熱可塑性ポリイミド樹脂)
- •NeoFARIT®(半導体関連材料向け原料)
- ●アルテスタ®(耐熱非晶性ポリエステル樹脂)
- サイテスタ®(熱硬化性シアネートモノマー)



生態系や人体への影響が懸念されるフッ素成分を含まない透明ポリミードフィルム 「ネオプリム®」を世界で初めて量産化に成功





軽量化と安全性向上が求められる自動 車部材。発泡ポリプロピレン製の後部座 席コア材はどちらにも貢献し、全世界で 普及が進んでいます。



透明で安全なポリプロピレン樹脂をつく るためにも、芳香族アルデヒドが使われ ています。



透明ポリイミドワニス「ネオプリム®」は 無色透明性と300℃以上の耐熱性を活 かし、スマートフォン部材等の情報通信 分野での採用が進んでいます。

### ■ライフサイエンス・エネルギー資源・環境事業

### 人を、社会を生かすこと。 ガスのチカラを引き出すこと。

### ライフサイエンス分野で

長年培ってきた技術を活かし、バイオ テクノロジーに基づく健康食品素材の 開発製造も手がけています。

### 主要製品

健康食品向け素材 PQQ(ピロロキノリンキノン) SAMe(S-アデノシルメチオニン)含有酵母 SPD(スペルミジン)含有酵母

### エネルギー資源の開発で

石油・天然ガスの探鉱のほか、天然ガスを用いた火力発電 や地熱発電にも事業参画し、クリーンエネルギー事業を 推進しています。

- ●天然ガス・原油の採掘・探鉱
- 地熱エネルギーの開発
- 電力販売



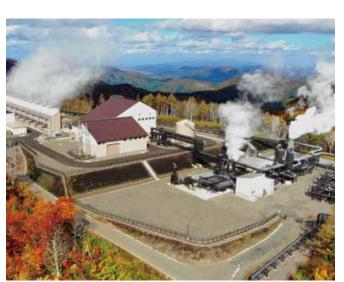
バイオテクノロジーを利用して製造される PQQ(ピロロキノリンキノン)は、脳機能 改善作用が期待される食品素材です。



SAMe(S-アデノシルメチオニン)やSPD (スペルミジン)を高含有する機能性酵 母を提供しています。(写真:SAMe含有 酵母)



培った動物細胞培養技術、製造プロセス開発力を活かして、抗体医薬品原薬 の開発初期段階から製造までをカバー。高品質で安心な治療に貢献します。



地熱発電は季節、気候の変化の影響を受けないため、電力の安定供給に貢献します。CO2排出量が小さく、地球温暖化の防止施策として有効なクリーンエネルギーです。 (写真:秋田県山葵沢地熱発電所)



新潟にある自社鉱区で採掘した天然ガスは三菱ガス化学新潟工場で原料・燃料として利用しています。〔写真:新潟県岩船沖油ガス田〕

### ■無機化学品事業

### エレクトロニクスの進化を支える、 三菱ガス化学の想像力と創造力。

非塩素系漂白剤や工業用酸化剤として使われる過酸化水素や、 主に半導体分野で使われる高純度な電子工業用洗浄剤を中心 に展開しています。将来の半導体産業の成長に備え、日本・韓国・ 米国・シンガポール・台湾・中国の各地において、半導体製造工 程における洗浄用途で使用される超純過酸化水素の供給能力 を拡大させています。



過酸化水素は非塩素系漂白剤として紙パルプの生産に多く使われるほか、家庭用漂白剤、工業用酸化剤、金属の表面処理など幅広い分野で利用されています。



過硫酸塩類はプリント配線板のエッチング剤や合成樹脂の重合開始剤などに使われています.

- ●過酸化水素
- ●過硫酸塩類
- ●エレクトロニクスケミカル(電子工業用薬品)



超純過酸化水素をはじめとする三菱ガス化学グループのエレクトロニクスケミカルは半導体デバイス、 液晶ディスプレイ、プリント配線板の生産に欠かせない薬品です。



### ■光学材料事業

# 高度情報化社会を照らし、映し出すきらめく七色の技術。

スマートフォン等のカメラレンズに使用される光学樹脂ポリマー「ユピゼータ®EP」や、世界最高レベルの屈折率を有するプラスチックレンズ材料をはじめとする多種多様な光学材料製品を展開しています。

- ●光学樹脂ポリマー(ユピゼータ®EP、Optimas™)
- •超高屈折率レンズモノマー
- ●溶剤可溶型特殊ポリカーボネート樹脂(ユピゼータ®)



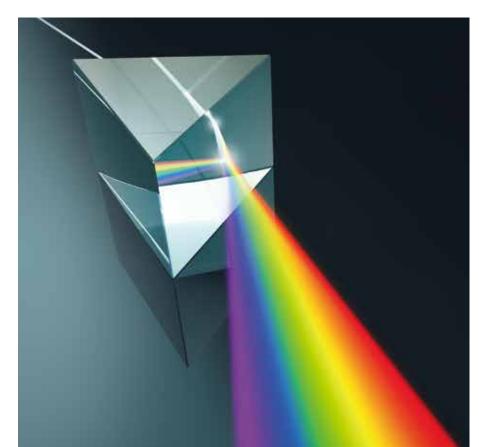
ユピゼータ® EPは、スマートフォンなどの 高機能小型カメラレンズに使われていま す。 (写真: ユピゼータ® EP製光学レンズ)



三菱ガス化学の材料を使った眼鏡レンズ は高屈折率が最大の特長であり、プラス チックレンズとしては究極の光学特性を もっています。



Optimas™はこれまでアクリル系樹脂の 欠点といわれていた耐熱性、吸水性を大幅 に改善し、車載部品、各種レンズ(AR、VR 等)に使用されています。



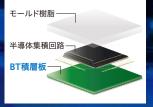
### ■電子材料事業

技術が勝ちとった実績と信頼で、半導体の未来を支えていく。

半導体パッケージ基板などに使われるプリント配線板用積層 材料を中心に、プリント配線板の小径孔あけ加工に使う補助 材料「LEシート®」、データセンターで使用される高速伝送用 プリント基板の原料として使用されている低誘電特性のOPE (オリゴフェニレンエーテル) 樹脂など、電子産業に欠かせない製品を提供しています。

### 主要製品

- ●プリント配線板用積層材料
- ●LEシート®(ドリル加工用補助材料)
- ●OPE(オリゴフェニレンエーテル) 樹脂



BT積層材料は半導体パッケージ基板と してトップシェアを誇ります。



BT積層材料を使った高性能半導体パッケージが、スマートフォンやタブレットPCなどの最先端モバイルを支えています。



三菱ガス化学のOPE樹脂は、その低誘電 特性によりデータセンターで使用される 高多層基板に求められる高速伝送性能を 支えています。



LEシート®は微細化する配線パターンを 支えるドリル加工用補助材料です。

(写真:米沢ダイヤエレクトロニクス(株))

### ■生活衛生ソリューションズ事業

# おいしさ、きれいさを保つ空間制御技術の提供で、食品や医療の安全を支える。

「食品をおいしく保つには、劣化の原因となる酸素を取り除けば良い」、そんな発想から生まれた脱酸素剤「エージレス®」。現在では脱酸素技術に加え、過酸化水素や過酢酸による殺菌技術も加えた空間制御技術へと発展を遂げ、幅広い分野に向けて品質保持のトータルソリューションを提供しています。

- エージレス®エージレス・オーマック®(脱酸素フィルム)
- ファーマキープ®(医薬品・医療機器用)
- 水処理剤環境薬剤エージレスドライ®(乾燥剤)
- ●アネロパック® (嫌気培養システム)
- RPシステム®(電子・機械部品・美術用)
- ダイヤパワー®FP(食添用過酢酸)



エージレス®は日々の食材から菓子・嗜好品、非常食に至るまで、あらゆる食の安全・安心を支えています。



エーンレス®やファーマキーフ®は医薬品や医療機器の品質管理にも使われています。



無酸素・乾燥状態を維持できるRPシステム®は金属・電子部品の品質保証や美術品の保護にも役立っています。



ダイヤパワー® FPは食品添加物規格を満たした過酢酸製剤で、食肉、果実、野菜の食中毒菌の殺菌に効果が高く、殺菌力が失われにくいという特徴を有します。



「エージレス®」は日本をはじめ世界各国で利用されています。

### "いま"に甘んじることなく、その先へ。 技術と製品で新たな道を切り拓く。

三菱ガス化学グループでは、保有する事業・製品間のシナジーを最大限に活かすとともに、他社との事業提携やM&Aも検討し、新規事業の創出に積極的に取り組んでいます。

### 主要な開発テーマと開発品

#### 開発分野

- 医療
- ●食品
- ●モビリティ

### ●医療包材—OXYCAPT™



酸素パリア性・酸素吸収性に優れた、新しいプラスチック容器です。破損しにくいことに加えて、タンパク質の吸着性が低く、容器からの溶出物が少ないというプラスチックの特長を活かした、パイアル瓶タイプの製品です。

### ●固体電解質



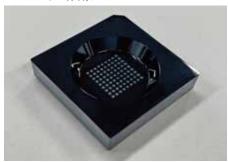
全固体電池は、高い安全性を保ちながら、高出力化・大容量化が 可能な次世代電池として、電気自動車や電化製品分野向けでの 活躍が期待されています。その実用化に向けて、現在主流である リチウムイオン電池で使用されている液体電解質を代替する固 体電解質の高性能化・量産化に取り組んでいます。

#### ■工場生産野菜



野菜流通ベンチャーと合弁会社MGCファーミックスを設立し、東日本最大級の完全人工光型植物工場にて、レタスを始めとする葉菜類の生産・流通・販売を開始、工場生産野菜事業に本格的に参入しました。国際認証規格であるGROBAL G.A.Pを2020年に取得し、安心・安全な野菜を安定して提供しています。

### ●アレルギー診断チップ



QOLの向上に貢献が期待される、アレルギー物質と結合してアレルギー反応を引き起こす血液中の抗体を測定するチップを開発しています。アレルギー物質を複数の断片に分けて同時に測ることで、抗体がアレルギー物質のどの部位と結合するのかを検査できるため、既存の手法より精度の高い情報を得ることができます。

## 研究開発 Research & Development

### 研究開発「社会と分かち合える価値の創造」の推進。

三菱ガス化学グループでは、従来よりユニークな独自技術を開発し、社会の要請に応える価値ある製品を開発してきました。既存の製品については技術の改良にたゆまず取り組み、収益力の強化や環境負荷の低減に努めていきます。

新製品、新規事業の創出については、社会のニーズは何か、三菱ガス化学グループの技術が活用できる場面はないか、その技術は 環境にやさしいか、等々を常に考え、新しい製品・新しい事業を継続して生み出すことにより、新しい価値を創造していきます。

### 研究開発戦略

三菱ガス化学の研究開発は特色のある優良化学会社を目指すための重要な手段として位置付けられています。三菱ガス化学では 長年培ってきたコア技術を最大限に活用し、新プロセス創出・導入によるケミカルチェーンの強化、今後成長の見込めるモビリ ティ、医・食、情報・通信、エネルギー、インフラの5つのターゲット領域に対して重点的に研究開発を推進していきます。



東京研究所

### 技術プラットフォームと主要製品 キシレン分離/メタノール/メタクリル 触媒 酸メチル/アンモニア/ジメチルエーテ 超強酸/固体触媒/高圧技術 ル/芳香族アルデヒド プロセスエンジニアリング・分析(共通) 合成 過酸化水素/ネオペンチルグリコール/ 空気酸化/液相酸化/水添 メタキシレンジアミン ポリカーボネート(ユーピロン®)/ポリアセ ポリマー タール(ユピタール<sup>®</sup>)/MXナイロン/光学 重合/フィルム・シート/ 樹脂ポリマー/超高屈折率レンズモノマー 樹脂加工 /変性PPE(ユピエース®)/樹脂成形 機能製品 脱酸素剤(エージレス®)/プリント配線 脱酸素関連/ワニス製造/ 板用材料/環境薬剤/エレクトロニクス ケミカル/BTレジン/化学研磨液 EL薬品関連 ライフサイエンス 機能性食品素材(POO、酵母製品) 連続培養/育種/ 抗体医薬技術

## R&Dの目標・ターゲット

### 成長分野にむけた事業創成

モビリティ、医・食、情報・通信、 エネルギー、インフラ

研究開発戦略

### ケミカルチェーン強化

新プロセス創出・導入

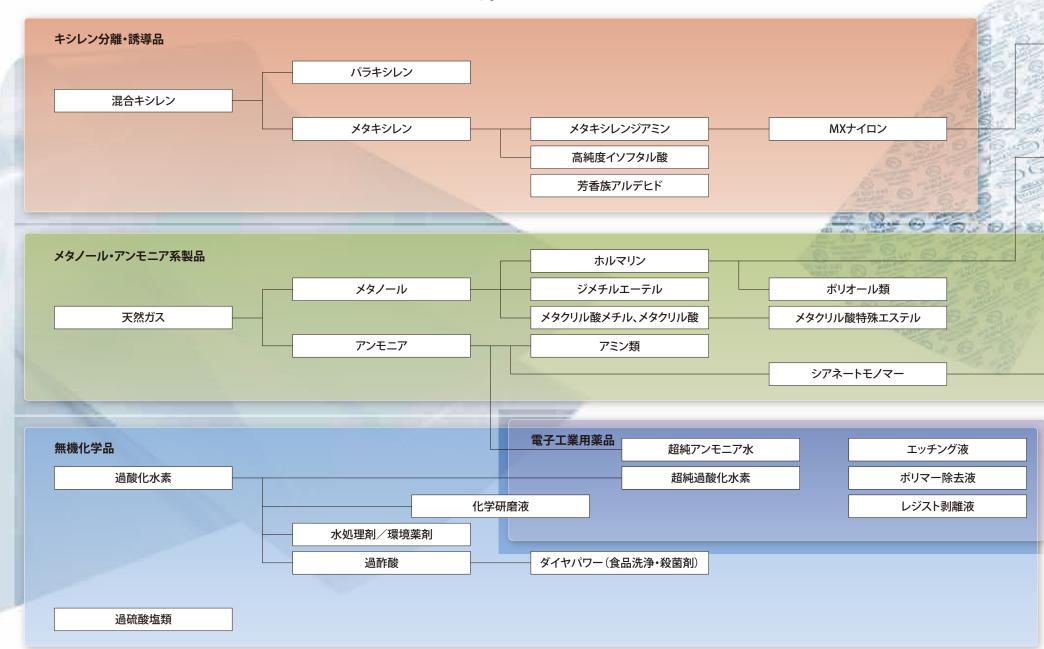


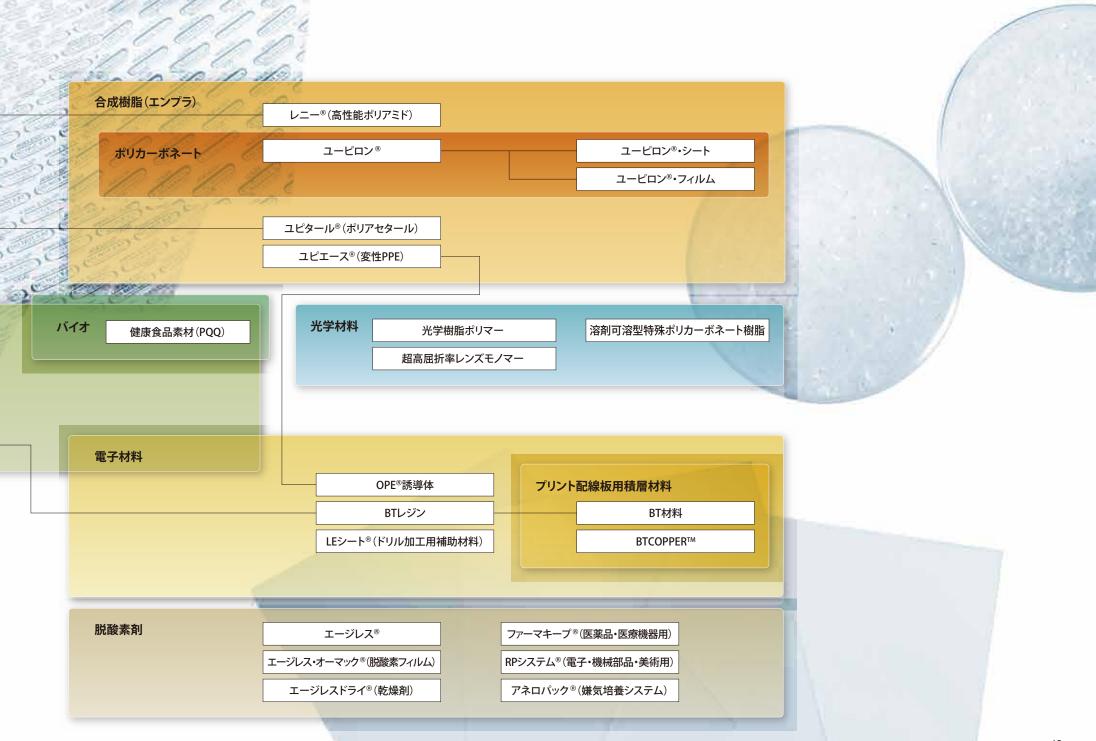
新潟研究所



平塚研究所

# プロダクトフロー Product Flow ケミカルチェーンからハイパフォーマンスまで。





## eati-s Corporate Data

### 会社概要

### 社名

三菱ガス化学株式会社

(登記社名:三菱瓦斯化学株式会社)

(英文表記: MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.)

### 所在地

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

### 創業

大正7年(1918年)1月15日

### 設立

昭和26年(1951年)4月21日

### 資本金

419.7億円

### 決算期

3月

### 拠点一覧

### 駐在事務所

上海事務所 台湾事務所

### 研究所

東京研究所 新潟研究所 平塚研究所

### 工場等

新潟工場

水島工場

四日市工場

- ●浪速製造所
- ●佐賀製造所

山北工場

鹿島工場

OOLイノベーションセンター白河

### WEBサイトのご案内

事業を分かりやすく紹介するほか、製品情報なども検索しやすいつくりとしています。 スマートフォンにも対応しておりますので、ぜひご覧ください。

URL:https://www.mgc.co.jp/





### 主なグループ会社

#### 国内

永和化成工業株式会社[連]

MGCアドバンス株式会社[連]

MGCウッドケム株式会社[連]

MGCエージレス株式会社[連]

MGCエネルギー株式会社「連〕

MGCエレクトロテクノ株式会社[連]

MGCターミナル株式会社「連】

MGCフィルシート株式会社「連】

共同過酸化水素株式会社[連]

株式会社グラノプト「持]

グローバルポリアセタール株式会社[連]

株式会計JSP「持〕

株式会社東邦アーステック[連]

東洋化学株式会社「連】

日本・サウジアラビアメタノール株式会社[持]

日本トリニダードメタノール株式会社「持」

三菱ガス化学ネクスト株式会社「連】

フドー株式会社[連]

ポリオールアジア株式会社[連]

三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社 [連]

三菱ガス化学トレーディング株式会社「連】

米沢ダイヤエレクトロニクス株式会社[連]

菱和エンタープライズ株式会社 [連]

[連]連結子会社 [持]持分法適用会社

### 海外

AGELESS (THAILAND) CO., LTD. [連] BRUNEI METHANOL COMPANY SDN. BHD. [持]

KOREA ENGINEERING PLASTICS CO., LTD. [持]

KOREA POLYACETAL CO., LTD. [連]

METANOL DE ORIENTE, METOR, S.A. [持]

MGC ADVANCED POLYMERS, INC. [連]

MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO., LTD. [連]

MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC. [連]

MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE. LTD. [連]

MGC PURE CHEMICALS TAIWAN, INC. [連]

MGC SPECIALTY CHEMICALS NETHERLANDS B.V. [連]

MGC TRADING (THAILAND) LTD.

MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC. [連]

MITSUBISHI GAS CHEMICAL ENGINEERING-PLASTICS

(SHANGHAI) CO., LTD. [連]

MITSUBISHI GAS CHEMICAL EUROPE GMBH

MITSUBISHI GAS CHEMICAL SHANGHAI COMMERCE LTD.

MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE, LTD. [連]

PT PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA「連】

SAMYOUNG PURE CHEMICALS CO., LTD. [連]

TAI HONG CIRCUIT INDUSTRIAL CO., LTD. [持]

TAIXING MGC LINGSU CO., LTD. [連]

THAI POLYACETAL CO., LTD. [連]

THAI POLYCARBONATE CO., LTD. [連]



### 三菱ガス化学株式会社

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル Tel. 03-3283-5000 Fax. 03-3287-0833 www.mgc.co.jp

本紙の掲載内容は、2025年4月1日現在の情報に基づいています。





